

コア実習の一般目標・到達目標

1. コア科実習の一般目標・到達目標（内科系/外科系/プライマリケア）

一般目標：

1. 臨床研修の基本となるコア科に必要な基本的態度・技能・知識を体験する。
2. 医師として、必要な基本的臨床能力（態度，知識，技能）を身につける。
3. 臨床実習の意義を理解し、積極的に学習する。

※ここで掲げたものは、順天堂附属病院におけるコア科（内科系、外科系、プライマリケア）実習において学習する事項である。

行動目標：

実習した項目を各自チェックする（☑）

備考

行動目標	実習した項目を各自チェックする（☑）	備考
1. 基本的な知識・技能・態度		
1) 患者と医師との関係		
(1) 医療面接		
・患者と医師の良好な関係の構築について理解する。		
・コミュニケーションスキルの重要性を理解する。		
(2) インフォームドコンセントの理解と指導医と現場を体験する。		
(3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮を行う。		
2) 基本的な身体診察：病歴の把握と所見のシステムレビューの作成		
2. 医師として必要な基本的な知識と態度		
1) 医療人に求められる社会における責任とニーズを学ぶ。		
2) 順天堂における基本的な理念などを理解する。		
3) チーム医療の理解		
4) 医療チーム（指導医・上級医師・上級生・同級生・下級生・コメディカル）への積極的な参加		
5) 同僚・後輩に対する指導・アドバイス		
6) 問題対応能力		
(1) 患者や病態の把握と問題点の抽出と整頓		
(2) EBMを理解し、臨床現場での応用を試みる。		
(3) 自己の問題解決能力の評価を受ける。		
(4) 症例報告とカンファランスへの参加と発表		
(5) 臨床研究の理解とそのアプローチ		
(6) 生涯教育の理解		
7) 安全管理		
(1) 自己の健康管理の理解と実行		
(2) 医療上の患者・家族・医療チームの安全管理の理解		
(3) 医療事故の理解と防止への努力		
(4) 院内感染対策の理解と防止への努力		
8) 医療の社会性		
(1) 保険医療の理解		
(2) 医療現場で医の倫理と生命倫理の重要性を理解する。		

実習した項目を各自チェックする (☑)

備考

3. 基本的な検査の理解・実行 (医学生の医行為レベルに準拠)		
1) 一般尿検査		
2) 便検査		
3) 血算 (赤血球・白血球・血小板、これらに関する指標)		
4) 血液型と輸血関連事項		
5) 心電図・負荷心電図		
6) 動脈血ガス		
7) 血液生化学		
8) 血液免疫血清学的検査		
9) 細菌学検査		
(1) 検体採取の理解と実行		
(2) 塗抹検査		
10) 肺機能検査		
11) 髄液検査		
12) 細胞診・病理検査・検体処理		
13) 内視鏡検査：消化管・気道・腹腔鏡など		
14) 超音波検査		
15) 単純X線写真		
16) 造影X線写真		
17) X線CT		
18) MRI		
19) 核医学検査		
20) 神経生理学的検査		
4. 基本的手技：順天堂大学 学生医行為のレベルに準拠		
5. 基本的治療：基本的な理解と選択		
1) 療養指導：安静度・食事・入浴・排泄・環境など		
2) 薬物療法：作用・副作用・相互作用		
3) 輸血：成分・副作用と対応		
4) 基本的な輸液		
5) 理学療法		
6) その他		
6. 医療記録 (指導と共に体験)		
1) 診療録の記載と管理		
2) 退院要約の記載		
3) 処方箋・指示票の作成と管理		
4) 診断書などの証明書		
5) 療養計画書・治療計画書		
6) CPCへの参加 (臨床研修医)		
7) 紹介状とその返事		
8) 症例報告などカンファレンスの参加と資料作成		

実習した項目を各自チェックする (☑)

備考

7. 頻度の高い・重要な症候の理解：医師国家試験出題基準（必修項目）に準拠		
8. 初期救急		
1) 院内での急患者の診療を体験する。		
2) 1次救命処置（BLS）を理解する。		
3) 救急現場での必要な事項（協力者の呼び出し、基本的な準備など）を理解する。		
4) バイタルサインの情報入手と解釈を体験する。		
5) 2次救命処置（ACLS）を理解する。		
6) 蘇生チームの活動を体験する。		
9. 外科系コア実習		
1) 臨床外科学の基本概念の理解		
(1) 一般目標：外科的治療・基本的臨床手技に関する知識を得ると共に周術期管理の基本を学ぶ。		
(2) 行動目標		
①手術の危険因子(risk factors)を列挙し、その対応の基本を説明できる。		
②手術に関するインフォームドコンセントの注意点を列挙できる。		
③基本的バイタルサインの意義とモニターの方法を説明できる。		
④周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。		
⑤創感染の徴候と処置法を説明できる。		
⑥創傷治癒機転とそれに影響を与える因子を説明できる。		
⑦術後発熱の原因を列挙し、鑑別方法を説明できる。		
⑧主要な術後合併症を列挙し、その予防方法の基本を説明できる。		
⑨経鼻胃管の適応と管理上の注意点を列挙できる。		
⑩周術期管理に使用される生体監視装置（モニター）の種類と適応を説明できる。		
⑪集中治療室の役割（機能）と管理上の基本的注意点を説明できる。		
2) 外科系の基本的診療技能		
一般目標：各基本的臨床手技の目的、方法、適応、禁忌と合併症を学ぶ。		
行動目標：		
(1) 一般手技		
①静脈採血の手順、部位と合併症を列挙できる。		
②耳朶・指先採血の適応と方法を説明できる。		
③動脈採血の目的、適応、手順、合併症と部位を説明できる。		
④経鼻胃管挿入の目的、適応、手順と合併症を列挙し、介助できる。		
⑤尿道カテーテルの目的、適応、手順と合併症を説明し、実施できる。		
⑥中心静脈カテーテル穿刺の目的、適応、手順、部位と合併症を説明できる。		
⑦注射の種類・各々の特徴・接種部位を説明できる。		
⑧血液型判定と交差試験の手順を説明できる。		

実習した項目を各自チェックする (☑)

備考

9. 外科系コア実習		
2) 外科系の基本的診療技能		
(2) 外科手技		
①清潔・不潔の区別を説明し、正しく実施できる。		
②手術や手技のための手洗いの方法を説明し、正しく実施できる。		
③手術室におけるガウンテクニックを説明し、正しく実施できる。		
④器具の清潔操作の注意点を説明できる。		
⑤術野と創の消毒方法を説明できる。		
⑥創の一次的閉鎖、遅延一次閉鎖、二次的癒合とデブリードマンを説明できる。		
⑦創の基本的な縫合方法（局所麻酔法を含む）を説明し、正しく実施できる。		
⑧創の止血方法の種類を列挙して、説明できる。		
⑨外科的ドレーンの種類を列挙して、説明できる。		
⑩包帯法とドレッシングの基本を説明し、正しく実施できる。		
⑪胸腔ドレーンの挿入と抜去の適応や合併症を説明できる。		